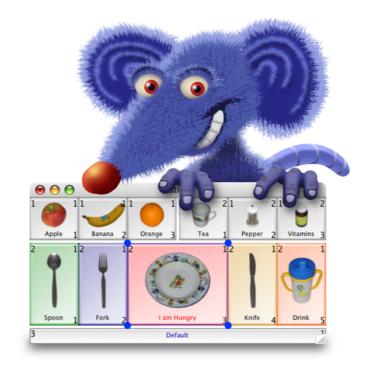
# LayoutKitchen® 2.0

for Mac OS X

AssistiveWare レイアウトエディタ



ユーザーズマニュアル



(Manual translated by Satomi Hanaoka)

AssistiveWare Van Speijkstraat 73-D 1057 GN Amsterdam The Netherlands Europe

fax: +31-20-6128266

http://www.assistiveware.com

LayoutKitchen contact: LayoutKitchen@assistiveware.com

LayoutKitchen, the LayoutKitchen application icons, and the LayoutKitchen documentation are copyright David Niemeijer © 1996-2008. All rights reserved.

The LayoutKitchen application icon (which also features on the cover of this manual) was designed by Giesbert Nijhuis using KeyStrokes®, a HeadMouse® and Photoshop®. Bill's icons image collection contains icons designed by Bill Lee.

The Japanese version of the software and manual were done under supervision of AT-Market, Satomi Hanaoka. Special thanks go to Nariki Osugi/Senior Researcher at National Institute of Special Education (NISE), Japan and Makoto Aihara for the Japanese scan panels.

This software was written by David Niemeijer. Special thanks are due to Rudo Niemeijer, Giesbert Nijhuis and the beta testers including, but not limited to: Marie-France Bru, Idvig Dal, Mark Griffin, Satomi Hanaoka, Jeremy Janson, Clair Judas, Bill Lee, Fabrice Montant, Nariki Osugi, Michael Phillips, Rodolphe Racon, Joseph Salinas, and Ian Wolstenholme. We would also like to thank Apple Computer for its technical support in solving the technical issues we faced when developing this application for Mac OS X.

AssistiveWare is a trade name and registered trademark of Niemeijer Consult.SwitchXS, LayoutKitchen,Proloquo, KeyStrokes and SmartTransparency are trademarks or registered trademarks of Niemeijer Consult. Macintosh, Power Macintosh, Mac, and Mac OS are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries. HeadMouse is a registered trademark of Origin Instruments Corporation. Photoshop is a registered trademark of Adobe Systems Incorporated. Use of LayoutKitchen is subject to the license agreement located towards the end of this manual.

Manual version 2.0

# もくじ

はじめに	5
クイックスタート	5
主な機能	6
必要なコンピュータシステム	6
インストール	7
ダウンロード版の利用情報設定	7
CD版の利用情報設定	8
ユーザ登録	8
スタート:パネル作成	8
既存のパネルを利用した作成方法	8
新規パネルから作成	10
ボタンの作成およびカスタマイズ	10
新規ボタン作成	10
アイテムについて	11
ボタン構成	12
追加動作	16
ボタンラベルの設定変更について	16
ボタンの色のイメージの設定変更について	16
スタイルのコピー&ペースト	18
ボタン構成の詳細について	18
ボタンの配置と配列	19
ボタンの配置とサイズ	19
スキャン用のボタンのグループ化	22
ボタンの選択	23
パネルの環境設定	24
イメージブラウザ	25
ボタンブラウザ	26
環境設定…の設定	28
環境設定へのアクセス	28
便利な機能	29
SwitchXSでLayoutKitchenを利用	29
パネルファイルサイズの制限	29
どのイメージ形式を使用する?	29
SwitchXSとProloquoを同一のパネルで使用	29

不具合情報	30
インスペクターウインドウのポップアップメニューに見られる不具合	30
サポート	31
サポート手順	31
地域販売店	31
ソフトウェアライセンス承諾書 (英語)	32

#### はじめに

LayoutKitchen(レイアウトキッチン)®はSwitchXS®スキャン・パネル、KeyStrokes®キーボード、Proloquo®スピーチパネルのためのエディタです。SwitchXSユーザは、ご自身のスキャンパネル(スキャンキーボード、配列)ご自身が必要とするキー、コントロール、および機能を、LayoutKitchenで作成出来ます。ご自身に合ったパネルをご利用することにより、SwitchXSのすばらしい機能をさらに、ご理解頂けるでしょう。KeyStroke4をご利用頂く方には、画像、色、お好みのフォントを利用して様々なキーや機能付きのご自身に合ったキーボードを作成するために、LayoutKitchenをご利用頂けます。Proloquoをご利用頂く方には、よく利用される語句を登録し、簡単にご自身のスピーチパネルを作成するために、

LayoutKitchenをご利用頂けます。(KeyStoroke4及びProloquoは、日本語未対応です。) さらに、イメージ画像をボタンに使用することにより、読んだり、書いたりすることが出来ない方のために、コミュニケーションパネルを作成する事が出来ます。(日本語文字は未対応ですが、半角英数文字を利用して、テキストを入力することは可能です。)LayoutKitchenはMac OS X10.3以降にて動作致します。

LayoutKitchenは、色付きのバックグランド・ラベル・ボタン、多くの種類のイメージ画像、様々な高度な機能により、さらにカスタマイズしたパネルを作成のための進化した特徴があります。LayoutKitchenの使い方は簡単です。LayoutKitchenを快適にご利用頂くには、はじめは、既存のパネルからボタンを再利用し、より複雑なパネルを作成することをお勧め致します。さまざまなユーザにご利用頂けるように、LayoutKitchenは、多くの動作、マウスベース(ドラッグアンドドロップ)・キーボードベース(キーボードショートカット)を可能にしています。また、スイッチユーザがほとんどマウス操作を利用することなく、ご自身のパネルをデザイン出来るように、簡単に作成するための機能も含まれています。

# クイックスタート

LayoutKitchen の使用はとても簡単です。LayoutKitchen をインストールするには、画面上でディスクイメージのファイルまたは CD から SwitchXS&LayoutKitchen フォルダをアプリケーションフォルダ(推奨) もしくは、ハードディスクにドラッグして下さい。



図1. LayoutKitchen スクリーン

LayoutKitchen を実際に起動するには、LayoutKitchen のアイコンをダブルクリックします。次に、ファイルメニューから新規を選択することで新しいパネルを作成することが出来ます。または、既存の SwitchXS スキャンパネル、KeyStrokes パネル、Proloquo スピーチパネルを参照しながら作成するには、XS パネル、KS パネル、PL パネルメニューからパネルを選択することによって、既存のパネルを変更することが出来ます。 メニューコマンドは、パネル上のボタンをグループ化して、配列を設定します。インスペクターのウインドウでは、選択されているボタンの機能を設定します。パネルの保存場所をデフォルト設定しているのは、SwitchXS、KeyStrokes、Proloquoの使用について、確実に保存し、すぐにご利用頂けるようにするためです。

# 主な機能

- SwitchXS、KeyStrokes、Proloquoのレイアウトエディタ
- パネル上のラベル、ボタンの配色を設定
- 多くのグラフィック形式(PNG、TIFF、JPEG、PSD、PDFを含む)でお好みのどんなサイズ のフルカラーイメージの設定も可能
- 各ボタンのサイズとスタイルに調整可能なテキストフォントを所有
- ボタン、色、およびイメージのドラッグアンドドロップ編集が可能
- ボタンをグループ化して、配列するための高度な機能
- 広範囲の機能がボタン、スピーチからテキストまでAppleスクリプトとキーボードマクロに 設定可能
- イメージ、ボタンブラウザを付属

# 必要なコンピュータシステム

LayoutKitchen2.0はMac OS X 10.3以降にて対応します。 LayoutKitchenを動作させる為には、 $800 \times 600$  ピクセルの画面解像度が必要です。最適な動作環境としてはMac OS X 10.4以降を推奨致します。

#### インストール

LayoutKitchen はディスクイメージ (.dmg 拡張子がついたファイル)、または CD でのご提供です。LayoutKitchen をインストールするには、マウントされたディスクまたは CD の中の SwitchXS&LayoutKitchen フォルダをハードディスクにドラッグして下さい。

\*SwitchXS&LayoutKitchen をアプリケーションフォルダ(推奨)にインストールすることをご提案致します。

# ダウンロード版の利用情報設定

Layout Kitchen をインターネットからダウンロードした場合、Layout Kitchen は「試用版」で動作します。試用版は 15 日間(連続して 15 日でなくても構いません)の使用で期限切れとなります。期限切れとなれば、Layout Kitchen は設定が保存されなくなり、30 分間以上の使用を拒否する「制限付試用版」で動作します。これらの制限を取り払うには、

LayoutKitchen を利用可能な状態にして下さい。もし、15 日間の試用版が期限切れとなり、それでもなお LayoutKitchen を評価するのに時間が必要と感じるのなら、

layoutkitchen.trial@assistiveware.com に e メールを送り、最短連続7日間(当社にメールが届いた時点から数えます。申し訳ございませんが、e メールは英語、フランス語、ドイツ語のみ対応可能です。)の試用期間延長する試用版コードを取得するようにして下さい。また、制限を全て取り払うには、永久利用コードを取得し、

layoutkitchen.trial@assistiveware.com のライセンスを購入するようにして下さい。 SwitchXS、KeyStrokes4 ユーザは、LayoutKitchen を購入する必要はなく、 LayoutKitchen は、SwitchXS、KeyStrokes4 利用コードを使用することが出来ます。 KeyStrokes3 ユーザは、KeyStrokes4 ヘアップグレードして、Layoutkitchen でご自身のキーボードをデザインするために、利用コードを取得して下さい。

利用情報設定の際、利用コードと一緒に、お名前、会社名(該当するのなら)、並びにeメールアドレス(お持ちなら)を入力して下さい。「LayoutKitchen」メニューから「利用情報へ…」を選び、「利用する」ボタンを押して下さい(図2参照)。尚、このメールはオランダのアシスティブ・ウエア社へ送信されます。文字は、すべて半角/英数にて入力して下さい(名前・会社名含む)。オンライン登録済のお知らせは、日本語で返送されます。

$\Theta \Theta \Theta$	利用情報
名前:	
会社名:	
e-mail:	
利用コード:	
現在のランセンス:	
	ライセンスを削除
オンラインで購入	オンライン以外で購入 オンラインで登録

図2. 利用情報のウィンドウ

また、LayoutKitchenでProloquoのスピーチパネルを作成したいProloquo用の LayoutKitchen利用コードを入力して下さいProloquoを起動するために、「利用情報へ…」を 選択し、利用コードと他の関連する詳細をProloquo利用情報のウインドウに入力し、ライセン スを追加ボタンを押して下さい。

# CD 版の利用情報設定

CD版 LayoutKitchen をお持ちの場合、そのアプリケーションはすでにユーザ登録が済ませてある可能性があります。その場合、LayoutKitchen を最初に起動した際、既に入力された永久利用コードとともに利用情報のウィンドウ(図2参照)が現れます。ここでは、お名前、会社名(該当するのなら)、並びにeメールアドレス(お持ちなら)のみを入力し、「利用する」ボタンを押してください。もし、利用情報のウィンドウが自動的に現れない、または所定の位置に永久利用コードが表示されない場合、お持ちのCDはまだユーザ登録されていない可能性があります。販売店からの永久利用コードの入力をお願い致します。その場合、上記ダウンロード版の利用情報設定の手順に従って下さい。

利用情報作業を行わない場合、LayoutKitchen は 15 日間(連続して 15 日でなくても構いません)の「試用版」で動作し、期限切れとなれば「制限付試用版」で動作します。この制限を取り払うには、ダウンロード版同様、LayoutKitchen を利用可能な状態にして下さい。

機種変更や OS の再インストールなどで、再度 Layout Kitchen をインストールが必要になった時のために、永久使用コードやユーザ情報は安全な場所に保管しておいて下さい。

#### ユーザ登録

利用情報作業が終わったら、製品アップデートやバグ取り情報などをお知らせする際に必要なユーザ登録をお願いします。http://www.assistiveware.com/register.html にアクセスをお願い致します。このオンラインフォームには、LayoutKitchen をさらに進化させる為、いくつかのアンケートもご用意してあります。尚、ここでご入力頂いた情報は外部に漏れることはございません。

#### スタート: パネル作成

パネルを作成するには、2つの簡単な方法があります。 1つ目は、既存のパネルを利用しボタン等の再設定を行う、もしくは削除します。 2つ目の方法は、既存のパネルウインドウを表示し、新規パネルへ、ボタンをコピー・ペーストするか、またはドラッグ・アンド・ドロップすることです。

以下、簡略に2つの方法を明記します。

#### 既存のパネルを利用した作成方法

既存のパネルを利用するには、XSパネル、KSパネル、PLパネルメニューから、既存のパネルを選択します。 次に、複数取り除きたいボタンがある場合、1つのボタンの上でクリックし、シフトキーを押しながら別のボタンを選択します。選択したら、削除するためにバックスペースキーを押す、もしくは編集メニューから、カット・削除を選択して下さい。

変更はしたいけれど。削除はしたくない場合もあると思います。 ボタン設定を変更するには、クリックして、変更したいボタンを選択して下さい。 インスペクターウィンドウで、ボタンの現在の特性を知り、アイテム、デザイン、項目を変えることができます。 試行錯誤しながら、お好きな設定が決定されることと思います。ボタンに別の既存のボタンの機能設定と一緒にしたいのであれば、ボタンを選択し、インスペクターウインドウをご参照ください。そして、その内容に従ってのボタンの設定を変更して下さい。また、既存のボタン(編集メニュー)を複製して、新規ボタンを作成した後、デザイン、項目など、必要に応じて機能設定をすることも可能です。

配列メニューでは、配列、割り付け、ボタンの大きさの設定をします。列の設定を行うため おおよその位置にボタンを並べたら、自動的に位置を決定させるために、配列メニューから、 整列を選択して下さい。

SwitchXS スキャンをご利用の方へ: スキャンパネルを作成していて、個々のボタンへの変更が終了したら、ボタンのスキャン設定をする必要があります。 設定は、ボタンはグループ、サブグループ、およびボタンの番号(ビューメニュー)にて確認出来ます。ボタンの左上にグループ番号、右上はサブグループ番号、右下がアイテム番号(図3参照)となります。

SwitchXS スキャンをご利用の方へ-さらに: カーソル枠の移動は、先ずは、グループ枠をスキャンします。 スイッチを押すことにより、グループ枠もしくはサブグループ枠へカーソル移動、再度スイッチを押すことにより、サブグループ枠単位でカーソルが移動します。正しいスキャンの順番になるように、ボタンを分類する必要があります。 列(隣接しているボタンが互いに触れていて)になり、ボタンを配置し、サブグループ間で2ピクセル以上、スペースを空けていれば、LayoutKitchenの自動グループ化けコマンドを利用することが出来ます(配置メニューより選択して下さい)。 このコマンドにより、自動的にボタンを分類し、行-列スキャンの順番が決定されます。 通常すべてのボタンを選択していれば、すべてのボタンがグループ化されると思います。しかし、すべてではなく、2個もしくはそれ以上のボタンを選択後設定を行えば、選択されたボタンのみがグループ化されます。 図3にて、ボタンの配置や設定方法を参照して下さい。より複雑なスキャン設定に関しては、「スキャン用のボタンのグループ化」という章にてご確認下さい。



図3. ボタンのグループ化

先ずは、ファイルメニューより、別名で保存…を選択し、カスタマイズしたいスキャンパネルを保存しておきます。デフォルト位置(スキャンパネルのための SwitchXS Scan Panels フォルダ、KeyStrokes Panels フォルダ、スピーチパネルのための Speech Panels フォルダ)に保存すると、パネルは各々のパネルメニューから、SwitchXS 及び Proloquo ですぐにご利用頂けます。 SwitchXS パネルは SwitchXS のアプリケーション上のメニューに自動的に表示され、KeyStrokes パネルは KeyStrokes のキーボードメニューに表示され、Proloquo パネルは Proloquo を利用する際に、PL パネルメニューに表示されます。ロードし、使用される準備が整っています。

#### 新規パネルから作成

新規パネルから作成する方法は、ファイルメニューから新規を選択して、新しいパネルを表示することを除けば、既存のパネル(前述の通り)から、作成する方法とほぼ同じです。 新規パネルから作成する方法を選択すると、新規パネルのプロパティを設定しながら、完成していくことになるでしょう。はじめにしなくてはならないのは、SwitchXS、KeyStrokes、Proloquo パネルに、スキャンパネルかスピーチパネルのどちらのパネルタイプを作成するのかを決定することです。 OK をクリックした後に、新規パネルのウインドウが現れます。 次に、XSパネル、KSパネル、PLパネルメニューから既存のパネルを開いて、新規パネルに使用したいボタンを選択します。選択したボタンを、新規パネルへは、コピー・ペーストか、ドラッグアンドドロップにてコピー出来ます。ここからは、前述の既存のパネルを利用した作成方法と同じように:ボタンの変更、配置、グループ化(スキャンパネルのみ)等の設定をして下さい。

#### ボタンの作成およびカスタマイズ

#### 新規ボタン作成

新しいボタンを作成するには、既存のパネル、(XS、KS、PLパネルメニュー、またはファイルメニュー)から開く…を選択して下さい。もしくは、新規作成用パネルを開いて下さい(ファイルメニューから新規を選んで下さい)。

新規ボタンを作成する方法は、いくつかあります。 最も簡単な方法を2つご紹介すると、ボタンブラウザ(ウインドウメニューから表示、非表示で選択)を使用する、または、既存のパネルからボタンをドラッグすることです。ボタンブラウザは後の章で説明しております。 ここでは、どのようにして、新規もしくは複数のボタンを作成することができるかに、絞ってご説明致します。

まず、インスペクターウインドウで、新規ボタン用のアイテムの種類とボタンのデザインを設定することが出来ます。また、あらかじめ、ボタン用の色(ボタンのデザインによっては、配色なし、全色使用、同じ配色に統一する等)とボタンのラベル用の色を設定出来ます。配置メニューから新規ボタンを選択するか、またはインスペクターウインドウにて、新規ボタンをクリックします。あらかじめ色の設定してから、ボタンを作成することをお勧め致します。

また、作成終了後にボタンの全体のブロックとボタンとボタンの間の距離を作成したいと思う時があるかと思います。その際は、配置メニューからボタンの新規範囲…を選択すると便利です。複数のボタンを作成のダイアログが表示され、行と列の希望するボタン数、ボタンの大きさ、ボタンスペースを指定出来ます。

複数のポタンを作成		
ボタン数:		
行: 1	列: 5	
ポタンの大きさ:	ボタンスペース:	
幅: 35	横: 0	
高さ: 35	縦: 3	
キャンセル OK		

図4 複数のボタンを作成

# アイテムについて

多くの設定が、ポップアップボタンに表示されているアイテムごとに、インスペクターウインドウで設定可能です。以下の表では、どの機能が、SwitchXS、KeyStrokes/Proloquoに対応しているのかを明記しています。(申し訳ございませんが、KeyStrokes は、現在のところ、日本語未対応となっております。)

アイテム	機能	SwitchXS	KeyStrokes	Proloquo
SwitchXS コマンド	SwitchXS コマンドを実行・設定	はい	いいえ	いいえ
KeyStrokes コマンド	KeyStrokes コマンドを実行・設	はい	はい	いいえ
	定			
LayoutKitchen コマン	LayoutKitchen. コマンドを実	はい	はい	いいえ
ド	行・設定			
Proloquo コマンド	Proloquo. コマンドを実行・設定	はい	はい	はい
マウス 操作	カーソルの動きやクリック操作を	はい	いいえ	いいえ
	設定			
キー(入力する)	Keystroke との組み合わせ可能。	はい	はい	いいえ
	通常のハードウエアキーボードの			
	入力と同様			
メッセージ (話す)	テキストメッセージを話す	はい	はい	はい
パネルをロード	別のパネルヘロード	はい	はい	はい
テキスト(入力する)	一文字、もしくは複数の文字を入	はい	はい	テキストを
	力			Proloquo
				テキスト
				ウィンドウ
				に挿入して
				可能
テキスト マクロ	一連のキーストローク、文字を入	はい	はい	いいえ
	力して、キーボードショートカッ			
	トの操作を実行(例; コマンド+Q			
	は、終了)			
書類/アプリケーション	書類を開いたり、アプリケーショ	はい	はい	はい
を開く	ンを起動			
スクリプトを実行	Apple スクリプトを実行	はい	はい	いいえ

# ボタン構成

各アイテムを設定するには、インスペクターウインドウを使用します。まず最初に、設定するボタンを選択します。インスペクターでは、選択されたボタンの機能を表示しています(図5 参照)。インスペクターウインドウでは、上段より、アイテムの種類を決定します。そして、ボタン配置とサイズを表示、ボタンのアピアランス、ボタンの項目を設定することができます。項目の種類については、前述の通りです。位置とサイズについては、ピクセルで表示され、明白なので、ここでの説明は省略させて頂きます。

ボタン構成も複数ございます。 先ずは、ボタンのデザインです。 現在、次の表に提示された5つのデザインから選択することが出来ます。

ボタンデザイン	構成	カラー
透明ボタン	ボタンを非表示。直接パネルバックグラウンド	いいえ
	にテキストラベルとイメージを表示	
アクア ベベル	標準の Mac OS X ボタン。 ボタンが ハイラ	いいえ
	イト、選択されているとき、濃く表示	
プレーン	ボタン範囲は、陰影がなく、選択された色で	はい
	「塗装」。	
シンプル ベベル	簡単な傾斜タイプボタン。ボタンが ハイライ	はい、カラー化可能
	ト、選択されているとき、濃く表示	
スノー キー	かすかに、陰影があるボタン。ボタンが ハイ	はい、カラー化可能
	ライト、選択されているとき、濃く表示	

次に、ボタン表示の設定をします。 ポップアップメニューより、イメージ、ラベル、イメージ&ラベルから、選択出来ます。その後、ラベル、ボタン、イメージ&ラベルの色の変更をします。

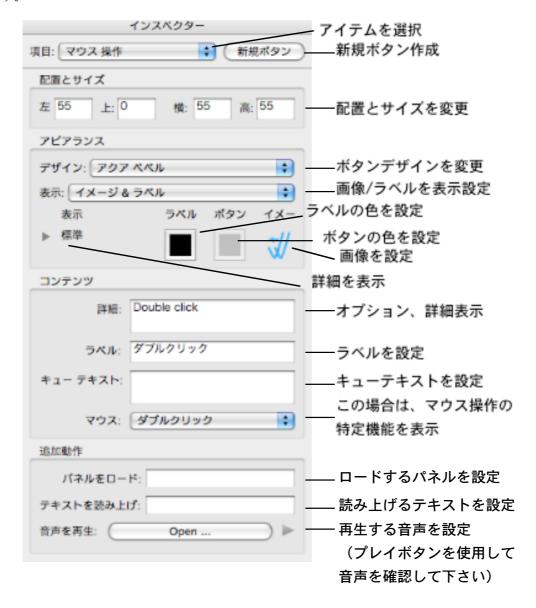


図 5. インスペクターウインドウにて機能紹介

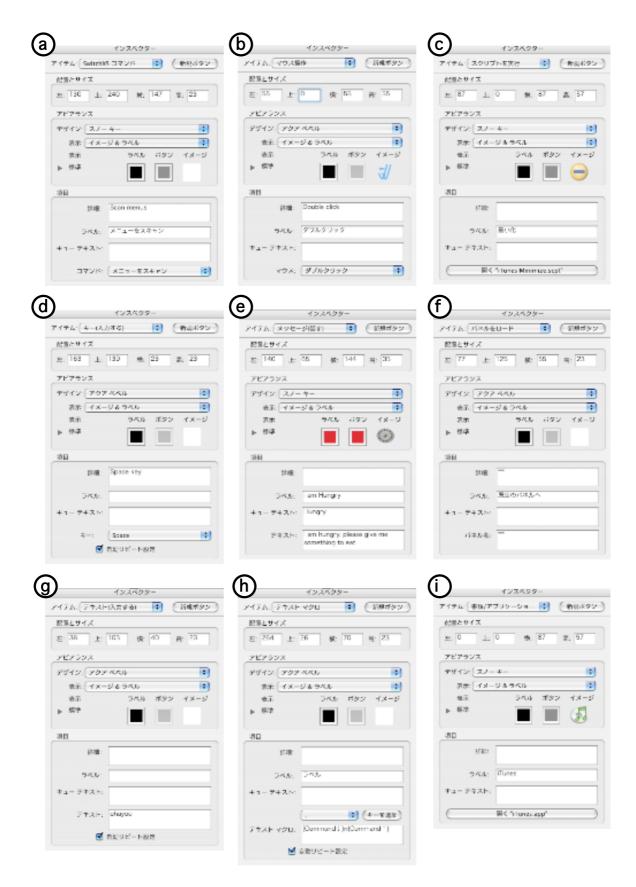


図 6. インスペクターウインドウにて、ボタンの主な入力機能、追加可能な機能のご紹介

インスペクターウインドウとフォーマットメニューの中の項目をクリックすることによって、 色、イメージファイルを選択するダイアログで設定することが出来ます。また、ラベルとボタ ンの色は、カラー見本から別のカラー見本へドラッグするか、ボタンへ直接設定出来ます。 さ らに、サムネイル上のファインダーか、直接ボタンへのイメージファイルのドラッグアンドド ロップ、またはイメージブラウザからのイメージのドラッグアンドドロップによってイメージ (画像)が設定出来ます。(詳しくは、「イメージブラウザ」の章をご覧下さい。)通常、色と イメージは、標準の設定で終了です。さらに、詳細な設定をご希望であれば、左側の三角形を クリックして下さい。(図5参照)。 ラベル、ボタンの色を、さらに詳細に、設定出来ます。 詳 しくは、「ボタン構成の詳細について」の章をご覧下さい。

ボタン表示の設定が終了したら、ボタンの項目を設定します。 項目には、共通した設定フィールドがあります。 最初の分野は、任意で、ボタンの詳細を記述して、しまっておくために使用します。 2番目のフィールドはボタンの上に表示するラベルを設定します。 3番目の共通フィールドは、スキャンの間声のフィードバックを使用するキューテキストの設定をします。各ボタンがスキャンされるとき、キューテキストが音声化されるので、読むのが困難、ロービジョンのユーザの方へ、どのボタンがスキャンされているかをお知らせします。

詳細設定の注意:スクリプトを実行ボタンに関しては、Apple スクリプトに命令を送る詳細フィールド上のテキストが、スクリプト情報の命令、動きを決定させるスクリプトを送っています。例えば、プレーリストをプレーし始める Apple スクリプトはどんなプレーリストをプレーしたらよいかを決定する情報を使用します。複数のボタンに同じスクリプトを使用するには、各ボタンに別のプレーリストを開始するように、記述フィールドに情報を変更します。いくつかのスクリプトの例が LayoutKitchen に付属されています。

その他、項目の特定のフィールド、および機能は図6をご覧下さい。 コマンドアイテム (SwitchXS、KeyStrokes、Proloquo、およびLayoutKitchen コマンド)のために、コマンド ボタンを(図6a)のように選択することが出来ます。 マウス操作ために、マウス操作(図6b)を選択します。 スクリプトを実行のために、(図6c)へのスクリプトを選択します。 選択されたスクリプトはパネルの中に登録されます(よって、別途スクリプトファイルを使用しないで、命令を実行することが可能です)。 スクリプトの変更を行うと、ボタンにスクリプトを再実行させるまで、スクリプト実行ファイルは、パネルに影響することはありません。

キーを入力するのに選ぶキー(入力する)は、キーに自動リピート設定(図 6d)をするかどうかを選択して下さい。 自動リピート設定においては、SwitchXS の環境設定....においてオンに設定される場合にのみ自動リピート設定が実際に実行されますので、ご注意ください。 メッセージ(話す)は、話したいことをテキストで設定します(図 5e)。 パネルをロードは、次に変更したいパネルの名前を設定して下さい。 特定のパネルの代わりにデフォルトパネルを設定したい場合、パネル名(図 6f)のように、3 つのアスタリスク(\*\*\*)を入力して下さい。

テキスト(入力する)は、入力したいテキスト(図 6g)を設定して下さい(申し訳ございませんが、半角英数のみの対応となります)。 キー(入力する)の場合は、ボタンがキーリピートをするかどうかに関係なく、設定をしています。 テキスト マクロでは、 $\downarrow$ キー  $\uparrow$  キーが表示され、(項目を入力するテキストのように) キーボードショートカットの設定をします。 例えば、コマンド-N(ファイルを開くためのキーボードショートカット)の ボタンを作成したい時は、ポップアップから 'コマンド'を選択、次に追加ボタンをクリックします。 テキスト マクロ枠に、コマンド  $\downarrow$  とコマンド  $\uparrow$  が挿入されます。コマンド  $\downarrow$  とコマンド  $\uparrow$  の間に、字 N(図 6h)を入力します。また、作成したテキストマクロボタンにも、自動リピート設定を行うことが可能です。書類/アプリケーションを開くは、書類かアプリケーション(図 6i)の起動設定をします。

#### 追加動作

また、メインの動作に加えて、各ボタンは多くの追加動作を実行することができます。インスペクターの「追加動作」をご覧下さい。(図4参照)。パネルをロードのフィールドでは、指定の名前のパネルをロードすることが、可能になります。例えば書類/アプリケーションを開くボタンを作成した後に、さらに、その書類/アプリケーションに特定のパネルをロードすることが出来ます。メインの動作が実行されているとき、テキストを読み上げのフィールドに入力された文字を読み上げます。(日本語の読み上げには、別途ソフトウエア<ドキュメントトーカ>が必要となります。)例えば、ボタンを選択した後に、どのアプリケーションをロードしたのかを確認するのに役立ちます。音声を再生のフィールドでは、ボタンを選択するときに使用するオーディオファイルを選択することが可能です。特定のボタンを選択した際に、気付きを促すような音を再生したり、または事前に録音された音声を再生することが出来ます。右側の小さな再生ボタンで、選択された音を確認出来ます。

#### ボタンラベルの設定変更について

テキストフォント、サイズ、およびスタイルを決定するために、フォントウインドウ(フォーマットメニュー)にて設定します。この作業は、選択されているボタンに適用されます。フォントを表示のウインドウに表示されている内容が、すべてのアプリケーション上で利用可能ではありません(Mac OS X による制限です)。例えば、フォントを表示ウインドウにて選択可能とされているテキストの色はボタンラベルの色を変更出来ません。変更可能なのは、ファミリー、サイズです。設定は、ボタン単位で可能で、すべてのボタンの種類にて、変更可能です。

選択しているボタンにラベル色を設定するには、下記の方法があります:

- 1) フォーマットメニューからラベルカラーコマンドを選択:
- 2) インスペクターにて、ラベルカラー見本からボタンにドラッグ:
- 3) インスペクターのラベルカラー見本の上でダブルクリック。

ボタン単位でラベル色を設定することが出来ます。詳しくは、「ボタン構成の詳細について」の章にて記述しているボタンの設定変更でもご説明しています。

#### ボタンの色イメージの設定変更について

選択しているボタンの色を設定するには、下記の方法があります:

- 1) フォーマットメニューからボタンカラーコマンドを選択;
- 2) インスペクターにて、ボタンカラー見本からボタンにドラッグ:
- 3) インスペクターのボタンカラー見本の上でダブルクリック。

ボタン単位でボタンの色を設定することが出来ますが、透明ボタンとアクア ベベルボタンの デザインにおいては、着色されません。色の適用はボタンのデザインによります。 プレーンボ タンは選択された色で設定されますが、シンプル ベベルとスノー キーボタンのデザインでは、

変色します(より薄く、柔らかい色になります)。 詳しくは、「ボタン構成の詳細について」の章にて、様々なボタンを様々なボタンの色で設定する方法をご説明しています。

ボタンのイメージ(画像)を設定するための様々なオプション:

- 1) フォーマットメニューからイメージを選択コマンドを選択(イメージを取り除きたい場合、イメージを取り除くも同じメニューから命令します);
- 2) イメージファイルをファインダーからボタンにドラッグ;
- 3) ファインダーからインスペクターのイメージサムネイルヘドラッグ
- 4) イメージサムネイルをダブルクリック;
- 5) イメージをイメージブラウザからボタンヘドラッグ;
- 6) イメージブラウザのイメージをダブルクリック (イメージブラウザの詳細は、「イメージブラウザ」という章にて、ご説明しています。)

ご自身が設定しやすい方法をご利用下さい。

ほとんどのイメージファイル形式をご利用頂けます。イメージが、大きなファイルサイズにならず、きれいな画像にしたいのであれば、PDF形式がお勧めです。写真をご利用の場合は、JPEG(または、JPG)形式が、お勧めです。透明なバックグラウンドにて、イメージを設定するなら、PNG形式はお勧めです。アイコンをイメージのようにし、写真と対照的な見え方になります。 Layout Kitchenは、すべてのクイックタイムイメージファイル形式もご利用頂けます。

PDFイメージを除き、LayoutKitchenではパネルに登録するイメージの大きさを制限しています。 デフォルトで、128x128ピクセルより大きいイメージは、フルサイズではなく128x128ピクセルまで縮小し、登録されます。パネルファイルのサイズを大幅に小さくするためです。ユーザご自身が、ボタンにイメージファイルをドラッグする場合、サイズを心配する必要はありませんが、LayoutKitchenでは自動的にサイズ変更を行います。 しかし、128x128ピクセルより大きいボタンでパネルを作成したい時は、ビューメニューからパネルについて…を選択し、高度な設定横の三角形をクリックし、内容表示し、ピクセルサイズを変更する、またはチェックを外し、デフォルトの変更を行います。また、高度な設定では、LayoutKitchenのイメージマージンを設定出来ます。 全体のボタン設定を可能にするために、デフォルトで、20%のイメージマージンにしています。

#### スタイルのコピー&ペースト

特定のボタンのデザインが気に入れば、スタイルをコピーして、それを別のボタンにペーストすることができます。先ずは、コピーを希望するボタンを選択してください。 次に、編集メニューへ、そして、コピーを選択して下さい。 次に、変更したいボタンを選択してください。そして、編集メニューからペーストを選択して下さい。 オリジナルのボタンから変更したい選択されたボタンへ、ボタンのデザインと色と同様にフォント・スタイル、サイズ、色をコピーします。

#### ボタン構成の詳細について

多くの場合は、各ボタンに1つのラベルの色、1つのボタンの色、および1つのイメージを割り当てることでしょう。しかし、場合によっては、さらに柔軟な機能が必要なこともあるかと思います。例えば、ロービジョンの方にとっては、スキャンする度(もしくは、マウスをボタン上で押さえた状態の時)にハイライトした状態では、別の色になった方が、良い場合もあるでしょう。逆に、標準の状態のままが良い場合もあるでしょう。例えば、Japanese Universal スキャンパネルにある自動リピートボタンのように設定出来ます。 通常、ボタンが暗くなることで、選択されているか否かを示しています。しかし、通常の設定では、十分でない方、違うボタン、色ラベル色、イメージを使用することで、使いやすくなる人もいるでしょう。 このように、それぞれの違いの設定を管理出来そうであれば、インスペクターウインドウで標準設定の左側の三角形をクリックするして設定出来ます。クリックすると、図7のようなウインドウが表示されます。

図7で、4つの異なったボタンの色とイメージの設定をご確認下さい。



図 7. ボタン構成の詳細設定

標準 操作を始める前の状態を設定します。 ボタンが、通常表示されている状態。

強調 スキャン中、もしくは、マウスでボタンを押さえた時の状態を設定。

追加 ボタンが選択された時、(スキャン、もしくはマウスで選択した後に)表示する

状態を設定。通常、追加では、標準より暗いボタンがMacにて表示されます。 ハイライトした状態であるのに、それほど暗くならないと感じるかもしれません。 視覚障害の方にとっては、暗さの度合いが十分でないかもしれません。

追加強調スキャン中、もしくは、マウスでボタンを押さえた時の状態を設定。

時には、標準対追加用として、自動的に強調と追加強調に違う色を使用したい場合もあると思います。また、4つの状態すべてに、違う色を設定したい場合もあると思います。 色とイメージ用のドラッグアンドドロップを簡単な方法で設定して下さい。標準カラー見本のポップアップメニューを使用したり、サムネイルのイメージ作業を軽減するには、イメージでは、特定のボタンに使用する1、2、4つの違う色かイメージを選択することが出来ます。 選択1は、1つの色がすべての状態で使用されて、設定した色は自動的に他の状態でも使用されることを意味しています。 選択2は標準と追加に違う色を使用することが出来、色を設定すると、自動的に強調の状態でも使用されることを意味してます。 選択4は、各状態用に違う色を割り当てることが出来ることを意味してます。 イメージはパネル上で各状態において登録されます。 各状態で違う色を使用しなくとも、色に関する複数の状態において、イメージに、同様の規則が適用されます。しかし、複数の状態に設定しない場合、ファイルサイズが大きくなってしまいますので、必要のない登録はしないでおいた方が賢明です。

ボタンがどのような状態であるかを確認するには、エディタウインドウでは、表示されているボタンの状態を変更するためのビューメニューにて確認出来ます。 ボタンが追加表示(追加、強調表示の状態)、ボタン上で押さえた状態もしくはスキャン時 (ハイライトされた状態)、もしくは(追加の状態)にした時、ボタンが(追加、強調状態)の際に、スキャンや押さえた状態に、すべてのボタンがどのように見えているかを、すぐに確認出来ます。色やイメージが特定の状態にしようと考えている、ボタンに色やイメージをドラッグした際にビューメニューを確認したい時、前章でご説明致しましたように、ボタン用のポップアップメニューの設定方法により、別の状態に変更した方が良いかどうかの判断もして頂けます。

これまで、ご説明した内容が、ひどく複雑に感じたのであれば、インスペクターウインドウのアピアランス設定の左側の小さい三角形をクリックして、すべての詳細を隠し、必要になった時に、この章を再度ご確認下さい。

#### ボタンの配置と配列

#### ボタンの配置とサイズ

ボタンの配置およびサイズについては、いくつかの設定方法があります。 最も簡単な方法 は、おおよその配置およびサイズのボタンを置きたい場所にドラッグアンドドロップします。 次に、位置とサイズの変更のために、インスペクターウインドウの配置とサイズにて、選択したボタンの位置や個々のボタンをピクセル単位で矢印キーを利用して、微調整することができます。

配列	
パネルをボタンに合わる	<b>\$</b>
大きさ	
√ ドラッグ用のスマート	スナップ
✓ 押したままにするスマ-	-トスナップ
整列	T#T
自動スペース	
横均等割付	<b>7</b> ₩H
縦均等割付	\#\
横揃え	☆ЖH
縦揃え	Ω₩V
左端を整列	₩L
右端を整列	₩R
上辺端を整列	ЖT
下辺端を整列	₩B
高さを最小に	^T
高さを最大に	^ <b>企</b> T
横幅を最小に	^ K
横幅を最大に	^ <b>企K</b>
左を伸ばす	
右を伸ばす	
上を伸ばす	
下を伸ばす	

図 8. 配列メニュー

Layout Kitchen では、ボタンをきちんと配置するためのスマートスナップの機能があります。スマートスナップは、ドラッグ用のスマートスナップと矢印キーで選択したボタンを少しずつ移動する、押したままにするスマートスナップがあります。環境設定の「間隔のスマートスナップ」で、ドラッグ用と押したまま用フィールドで間隔を設定出来ます。それぞれのスマートスナップのオン/オフは、配列メニューから選択します。

また、選択したボタンのサイズを変更するには、インスペクターの「配置とサイズ」で再設定するか、青色で選択されたボタンフレームの四角形の角の点(フレームハンドル)のどこでも1カ所をドラッグすることによって可能になります。 フレームハンドルが、小さ過ぎたり、大き過ぎたりする場合は、環境設定の中のサイズを選択にて、フレームハンドルのサイズ変更が可能です。



図9 大きさのダイアログ

複数のボタンを選択し、それぞれのボタンの拡大・縮小比率を変更するには、配列メニューのコマンドを使用します(図8参照)。複数のボタンの位置の再設定をしたい場合、ボタンの間隔を等しくしたい場合、配列メニューからの自動スペース…を選択します。 スペースのダイアログから、横と縦のボタンのスペースの設定が出来ます。行一列の決定について、整列コマンドで、パネル上のほぼまっすぐに並べられたボタンを、移動・伸縮しますが、完全ではありません。 列の先端を配列するには、左と右の辺が同じサブグループで、サブグループの上辺で揃えるようにします。正しく使用されると、このコマンドは非常に有効ですが、手当たり次第に置かれたボタンの対応は困難となっております。 このコマンドは、ほぼ適切に配置されているボタンを整列します; バラバラに置かれたボタンの整列は致しません。ボタンの選択がりもしくは1つの時は、整列は全体のパネルを調整し、その他、選択したボタンが複数であれば、選択したボタンに適用されるコマンドです。



図10 自動スペース…のダイアログ

水平均等割付と垂直均等割付コマンドは、選択しているボタンの左右、上下辺の最大値に合わせて均等割付をします。選択したボタンに、水平均等割付を実行すると、同じ横幅で、上辺を揃えます。 選択されたボタンに、垂直均等割付を実行すると、同じ高さになり、左辺を揃えます。

水平揃えと垂直揃えコマンドでは、選択しているボタンを均等に広げるのではなく、最も左 のボタンと最も上のボタンに合わせて整列します。選択したボタンに、水平揃えを実行すると、 サイズは変化しませんが、上辺を揃えます。 垂直揃えも、同様の原則ですが、左辺を揃えます。

4つの整列コマンドでは、その通りの整列を実行し、現在、選択しているボタンに適用されます。

高さを最小にと高さを最大にでは、選択したボタンを同じ高さにします。高さを最小にでは、 最も低い高さのボタンに合わせて揃え、高さを最大にでは、最も高い高さのボタンに合わせて 揃えます。 横幅を最小にと横幅を最大にでは、同様の原則ですが、幅を揃えます。 これらの コマンドは一列の複数のボタンには非常に有効ですが、すべてのボタンを均等の大きさにする には望み通りにならないかもしれません。 ボタンの移動やサイズを変更した場合、一番端のボタンをパネルの大きさにぴったり合わせたいと思うことでしょう。その場合、配列メニューからパネルをボタンに合わす…を選択して、LayoutKitchenのパネルを合わすのダイアログのボタンの周囲に合わせてパネルをサイズ変更で、端のマージンを設定出来ます。



図11 パネルをボタンに合わす…のダイアログ

重要事項: ご自身で作成したパネルの状態が最適であること、特に、SwitchXS スキャンパネルにおいて、重複したボタンが存在しないようにすることは、重要な要素です。編集メニューには、配列やサイズの変更をした時に便利なチェック機能としての、「重複部分を選択」があります。このコマンドを利用することにより、他と重複している部分を見つけることが出来ます。重複部分を取り除くには、ボタンのサイズや位置の変更、または隣接するボタンのサイズや位置の変更をすることが出来ます。変更の後、さらに修正する必要があるかの確認のために、再度「重複部分を選択」を選択します。重複部分はありませんというメッセージが出るまで、「重複部分を選択」する過程を繰り返して下さい。重複部分はないというメッセージを確認した時に、パネルは重複部分を含むことなく、最高の状態で作成出来ます。より、大きく、複雑であればある程、重複部分が全くない状態にするための重要な過程です。

# スキャン用のボタンのグループ化

ここでは、SwitchXSをスキャンパネルとしてご利用の方へ、ボタンが正しくスキャンするように、グループ化する方法をご説明します。新規スキャンパネルの編集をしたり、または既存のパネルの変更を行った後には、ボタンが適切にスキャンするかを設定する必要があります。このために、ボタンはグループ、サブグループ、およびボタン番号を(ビューメニューにて)確認出来ます。 グループ番号はボタンの左上、サブグループ番号は右上、ボタン番号は右下(図3参照)に表示されます。 スキャンは、初めにグループ間をスキャン、スイッチを押す事により、次は、サブグループ内をスキャンし選択したいボタンのあるサブグループまで移動して、最後にそのサブグループ内のボタンをスキャンするのです。よって、正しいスキャンのグループ化が必要になります。

ボタンを分類する最も簡単な方法は、配置メニューから自動グループ分けコマンドを使用することです。自動的にスキャンの行-列でボタンを分類します。 通常、すべてのボタンをグループ化しますが、2 個以上のボタンを選択していれば、選択されたボタンにのみ適用されます。図3にて、自動グルプ分けの方法をご参照下さい。 自動グループ分けは、すべての状態で適用されません。 自動グループ分けをする前に、サブグループ間(隣接しているボタンが互いに触れていること)のボタンを配置し、サブグループ間には、2 ピクセル以上のスペースが必要になります。行-列の設定(典型的なスキャン)のときにボタンをグループ化する場合、行-列のボタンの配列を自由に設定した場合、自動グループ分けは有効でありません。自由に設定する場合は、ボタンを選択してから行-列の設定を行います。

より複雑なコントロールを必要とするか、または標準的でないスキャン命令をしたい場合は、グループを使用します。さらに、手動で、サブグループコマンド(配置メニュー)でサブルグループ化します。この場合、初めに、特定のグループで、グループ化したいすべてのボタンを選択して、グループコマンドを適用します。次に、列に多くのボタンを設定している時は、サブグループが必要な時もあるかと思います。サブグループ化するには、設定したいボタンを複数選択して、サブグループコマンドを適用します。すでに設定した、グループに、サブグループ化したい複数のボタンを選択し、サブグループコマンンドを適用するという操作を繰り返します。こうして、各グループに複数のサブグループを設定することが出来ます。グループ、サブグループ、ボタンの数字を確認して、正しい設定がされていない場合は、グループもしくはサブグループの中の各ボタンに前に送ると後ろに送るのコマンドを使用し、再設定します。 同様に、サブグループの再設定には、サブグループを前に/サブグループを後ろに、グループの再設定には、グループを後ろに、グループの再設定には、グループを後ろにのコマンドを使用出来ます。

スキャン用のボタンをグループ化したら、パネルを保存し、SwitchXSで実際に操作し、ご自身で作成した新規パネルを検証して下さい。

#### ボタンの選択

マウスユーザの方にとって、ボタンを選択する最も簡単な方法は、その他の Mac OS X アプリケーションのように、マウスを利用してボタンをクリックし、それぞれコマンドクリックやシフトクリックを利用し、変更もしくは選択範囲を広げることです。 スイッチユーザの方にとって、マウス操作でのキーボードアクセスは、容易ではありません。 従って、編集メニューには、その他ののアプリケーションにはない、多くのキーボードショートカット機能があります。グループを選択、ボタン(グループ化前の章を参照)のサブグループを選択、次を選択、ボタンの選択範囲を拡げるコマンドがあります。

#### パネルの環境設定

新規(ファイルメニュー)を選択し、新しいパネルを作成する場合、初めに、新規スキャンパネル用の環境設定を行うウインドウが開きます。環境設定は、ビューメニューのパネルについて…のコマンドを選択して、後からでも設定可能です。

パネルについて…で、スキャンパネル(SwitchXS用)かスピーチパネル(Proloquo用)の どちらにするか、パネルタイプを設定します。パネルの用途によって、背面カラーを設定する ことが出来ます。ここまでは、基本の設定です。より進化した機能を設定したい場合は、 「高度な設定」の横の三角形をクリックして下さい。 図12をご参照下さい。

高度な設定では、パネルに言語を設定することが出来ます。SwitchXSか Proloquoに関するパネルメニューの場合は、アプリケーションを使用している言語とは無関係に、多言語に設定する場合がほとんどです。しかし、別のユーザに配布するパネルを作成する時、SwitchXSか Proloquoユーザが、言語メニューで選択出来る、お使いの言語を正確にご存知であれば、特定の言語に設定することをお勧めします。 言語メニューで特定の言語を選択し、アプリケーションを実行すると、パネルリストの中に、他の言語のパネルは現れません。その言語では使用しないシンボルやキー配列を設定しているパネルをメニューリストから見えなくし、ユーザが混乱するのを防ぎます。

パネルをパネルメニューへ表示したくない場合、例えば、別のパネル(パネルをロードのボタンを使用し)から、パネルをロードしアクセスをしたい場合、「SwitchXS や Proloquo パネルメニューでは表示しません。」を選択して下さい。完璧なパネルが完成したと思った時や、誤って変更したくない場合には、「書き込み禁止」を選択して下さい。 LayoutKitchen で、書き込み禁止パネルを起動することが出来ます。書き込み禁止パネルを変更後、別名で保存は可能ですが、直接、保存を選択出来ません。



図 12. パネルについて…

イメージマージンスライダーで、LayoutKitchenにてイメージマージンを設定します。 使用するイメージ (画像) がボタン上で、最大に表示させたい時は、0%に設定して下さい。

パネルファイルを小さくするために、イメージ(画像)を多く使用している時、横幅、高さイメージを限定を選択します。48 ピクセル以上より大きいボタンを作成したくないならば、48 ピクセルに設定しておくと、フォトショップで作成している 2MB のイメージをドラッグしても、LayoutKitchenでは、パネルファイルサイズを 2MB に拡大するのではなく、48 ピクセルのイメージのサムネイルを登録します。 逆に、250 ピクセルでボタンを設定したいのであれば、250 ピクセルに設定しておけば、例え大きいボタンであっても、最適な品質で表示されます。 この設定は新規ボタンを作成する(もしくは、新たにイメージを添付する)時に適用されて、既にボタンに添付しているイメージには、影響しないのでご注意下さい。 このように、いくつかのボタンのイメージサイズを一時的に変更したり、後ほど、再びパネルについて…を利用して、お好みのイメージサイズで、未だ設定されていないボタンを作成することが可能です。

# イメージブラウザ

イメージブラウザはイメージ(画像)集への便利で迅速なアクセスをご提供しています。 イメージをファインダーからボタンにドラッグする代わりに、すべてのイメージを Layout Kitchen の中ですぐにご利用になることが出来ます。選択されたボタンにイメージを適用するには、イメージをイメージブラウザからボタンにドラッグするか、イメージをダブルクリックします。イメージブラウザはフォーマットメニューから選択出来ます。

LayoutKitchen に付属しているイメージ集は、ウェブサイトからフリーでダウンロード出来るようになります。また、近々、Mayer-Johnson から販売されているサイズ変更可能でカラーイメージである約 8,000 近い Picture Communication Symbols  $^{\text{TM}}$  (PCS)のような、他のイメージ集の販売を開始する予定です。購入したイメージ集を使用するには、LayoutKitchen メニューから利用情報ウインドうにて利用コードを入力して頂く予定です。

容易に自身のイメージ集を作成する事が出来るようになります。フォルダを作成して、ご利用になりたいイメージを保存して下さい。 階層的にイメージ集を登録したいのであれば、サブフォルダを作成します。 次に、LayoutKitchen(フォーマットメニュー)でイメージブラウザを選択して、イメージブラウザのウインドウのポップアップメニューから参照…を選択します。イメージ(画像)があるフォルダを選択した後に、版権情報とURLの確認のダイアログが表示されます。 イメージ集が表示されている時、イメージブラウザの下部に著作権を表示します。そして、その通知をクリックすると、そのURLが表示されます。

イメージ収集をするとき、3つの点にご留意下さい。 まず第一にイメージが原寸で登録されるので、大きなサイズのイメージを多く使用すると、アクセスするのが非常に遅くなります。 従って、最初に、ボタンの上に使用したい最大サイズのイメージを設定し、その後イメージ集を作成する事をお勧めします。 例えば、デジタルカメラから iPhoto ヘインポートして作成した写真を、iPhoto エキスポートコマンド(iPhoto5 のメニューより)から、フルサイズでエキスポートしないようにするには、「横幅、高さイメージを限定」を選択し、例えば 100 か 200 を入力しておきます。 そして、LayoutKitchen でエキスポートイメージフォルダからご自身のイメージ集を作成します。



図 13. イメージブラウザウインドウ

第二に、LayoutKitchenイメージ集は、書き込み禁止であり、変更する事が出来ません。 イメージ集を変更したい場合は、オリジナルフォルダから作り直して下さい。 同じ名前で保存 すると、書き換えを行います。 また、既存のイメージ集は変更出来ませんので、 LayoutKitchen でイメージ集を作成する前に、ファインダー(または iPhoto)でイメージの名 前を設定して下さい。

最後に、多くのイメージと写真には、著作権がありますので、原則として他の Layout Kitchen ユーザにイメージ集を配布する場合は、イメージ (画像) 所有者に著作権があることを忘れないで下さい。 購入したイメージだけでなく、知人が作成したイメージ、知人からもらったイメージについても同様です。配布する前に、毎回、著作の確認をして下さい。 イメージ集をすべての Layout Kitchen ユーザと共有したいのであれば、ご連絡下さい。他のユーザの方々と共有するための方法をご一緒に考えられれば幸いです。

#### ボタンブラウザ

キー、一般的な単語、KeyStrokesコマンド、マウス機能、アプリケーション等、多くの一般的なボタン形式へ、すばやくアクセスすることを可能にしています。 新規ボタンを作成するには、ボタンのブラウザのポップアップメニューから適切な形式選択した後、希望のボタンを見つけるまでスクロールし、作成中のパネルヘドラッグして下さい。選択しているボタンのサイズ、色、形式を利用して、簡単に複数のボタンを同じ形式で作成します。 希望のサイズと形式のボタンを選択したら、ボタンブラウザからボタンをドラッグするだけです。 新規ボタンはドラッグしながら、上辺と左端を、次に並べたいと思う位置に放すようにすることで、パネル内の既存のボタンと新規ボタンを整列させることが出来ます。

上級ユーザの方へ:ボタンブラウザで使用するご自身のボタンコレクションを作成することも出来ます。先ず、ボタンコレクション用に必要なすべてのボタンをパネルへ作成して下さい。 次に、別名で保存…を選択して、Button Collectionsフォルダ(~/Library/

Application Support/AssistiveWare Support/、whereby ~ ユーザのホームフォルダ)を探してください。そのフォルダへパネルを保存して下さい。再起動後、ご自身で作成したパネル名が、自動的にポップアップメニューに新たに加わります。 他のボタンをボタンコレクションに追加したり、またはボタンを削除したい場合は、ファイルメニューの開くから、Button Collectionsフォルダを探し、ボタンコレクションを開き、変更、そして、ファイルメニューから保存を選択して下さい。

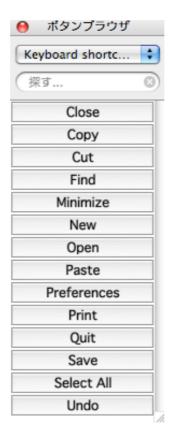


図14.ボタンブラウザウインドウ

#### 環境設定…の設定

#### 環境設定へのアクセス

"LayoutKitchen"メニューから環境設定コマンドでLayoutKitchen の環境設定にアクセスします。

多くの場合、デフォルトでの設定は使いやすいかもしれませんが、LayoutKitchenを利用し、 さらに様々な設定を使用して行くうちに、ご希望に添った、特殊な微調整もLayoutKitchenで は、可能である事をご理解頂けることと思います。

<u>パネルを表示では</u>、XS パネルに表示されたパネルとPL パネルメニューの数を特定の言語 に制限する設定が可能です。 現在、多言語、イギリス、フランス、日本の設定をすることが出来ます。 ポップアップメニューにて、多言語か、特定の言語を選択して下さい。

サイズを選択では、ボタンを選択してサイズの変更をする際に表示される青い点、ハンドル (フレームハンドル) の大きさを変更します。カーソルをハンドルに合わせるのが、難しいようであれば、ハンドルサイズを大きくすることで、合わせやすくなります。

一定間隔内のスマートスナップは、 移動するボタンが、別のボタンとグループになる場合 の距離を設定します。 ドラッグ用のスマートスナップ、矢印キーで使用する押したままにする スマートスナップと別の値に設定出来ます。

<u>ボタンが、Xピクセル離れている場合は</u>、SwitchXSパネルには、スキャン命令を調整する自動グループ分け機能がありますので、<u>サブグループを作成して下さい。</u>2個の隣接しているボタンの横の距離が、Xピクセル以上ある場合は、自動グループ分け機能により、サブグループを作成します。



図 15. LayoutKitchen環境設定

#### 便利な機能

ここでは、LayoutKitchenをご利用の際の便利な機能を紹介します。

#### SwitchXSでLayoutKitchenを利用

多くの Layout Kitchen の機能は、マウス操作なしに、直接 Switch XS からにアクセスする ことが出来ます。最も重要なファンクションへアクセスする Layout Kitchen スキャンパネル があります。しかし、さらに頻繁に利用したい機能が多くあり、スキャンパネルへ、その機能 を追加したい場合もあると思います。Layout Kitchen のコマンド項目を用いて、追加したい機能のボタンの作成が可能です; キーボードショートカット等を含むテキストマクロのフォーム で定義することが出来ます。 ボタンの構成の例として、Layout Kitchen スキャンパネルをご 参照下さい。

# パネルファイルのサイズの制限

ボタンに関する多くのイメージを使用すると、パネルファイルのサイズがどんどん増えているのがおわかりになると思います。 パネルサイズを抑えるいくつかの方法があります。 先ずは、ビットマップ画像を使用せず、PDFファイルに登録されたベクトルイメージを使用する方法です。 例えば、Adobe イラストレータ®を使用しイメージを作成出来ます。線や物体等の特色のあるベクトル形式のファイルは、ピクセル集としてイメージを保存しているビットマップイメージより、小さく保存されます。2番目は、(ビューメニューよりアクセスする)パネルについて…のウインドウを使用し、最大のピクセル数値を設定することです。LayoutKitchenで最大のイメージサイズを設定しておけば、自動的に、インポートしたビットマップイメージ(PNG、TIFF、JPEGファイルなどの)を、パネルファイルの限定サイズまで縮小します。 設定を変更すれば、すべてのパネル用に新しくインポートしたイメージに適用されます。 最大サイズをいくつにするかは、作成予定のボタンのサイズにより決定されます。 小さいボタンを作成する場合は、32か48ピクセルで、十分かもしれませんが、非常に大きいボタンを作成する場合は、デフォルトの128ピクセルであっても、美しく表示されていないと感じるかもしれません。

#### どのイメージ形式を使用する?

Layout Kitchen では、ほとんどどんなイメージ形式でもボタンに適用可能ですが、より有効かと思われる形式があります。 写真には、JPEGイメージが、非常にファイルを圧縮し、パネルファイルサイズを小さくしますので、お勧めです。透明なバックグランドにイメージを設定したい場合は、イメージにも「欠点」があることを認識しておいて下さい。透明ボタンへ設定可能なベクトル PDF ファイル、もしくは Adobe フォトショップ®などのアプリケーションを使用し作成した PNG ファイルのどちらかを使用して下さい。 PNG ファイルがかなり大きければ、(PDFイメージファイルが大きければ、おそらく1つ以上のビットマップイメージを含んでいて、使用しない方がよいでしょう) ベクトル PDF ファイルは、通常わずかなスペースを縮小します。

# SwitchXS、KeyStorokes、Prologuoを同一のパネルで使用

SwitchXS、KeyStorokes、Proloquoのためのパネルファイル形式は、同一です。 SwitchXS(AssistiveWare SupportフォルダのSwitchXS Scan Panelsフォルダ)、 KeyStrokes(AssistiveWare SupportフォルダのKeyboardsフォルダ)、

Proloquo(AssistiveWare SupportフォルダのSpeech Panelsフォルダ)へLayoutKitchenから、保存するのは簡単です。 Proloquoでは、キーやマウスボタンの設定は出来なくなっています。 同様に、KeyStrokes でも、KeyStorokesを利用するマウスユーザは、SwitchXSを利用する スイッチユーザ用のマウスキーは、無視して下さい。一度パネルをデザインし、再利用するには、SwitchXSを利用するには、スイッチユーザの方のみのコミュニケーションパネル、

Proloquoを利用するには、マウスユーザの方のみのコミュニケーションパネルの利用が有効となります。例えばキーボードパネルをSwitchXSとKeyStrokesの両方で利用したい、もしくは、KeyStrokesユーザが進行性の障害によりSwitchXSへ移行したいと希望する場合も、ユーザは、似たようなキーボードを利用し続けることが出来るので、実用的です。

# 不具合情報

# インスペクターウインドウのポップアップメニューに見られる不具合

インスペクターのポップアップメニューは左上角が、小さく表示されない Mac OS X のバージョンもあります。 操作には、影響はございません。Apple 社、10.4(タイガー)により、この不具合は、解決されました。

# サポート サポート手順

手順 1. このマニュアルや SwitchXS のヘルプを参照します。このヘルプ機能 SwitchXS がアクティブ状態

(最前面)の、「ヘルプ」メニューを選択することで利用できます。

手順 2. LayoutKitchen をお買い上げになった販売先に相談して下さい。

手順 3. 地域販売店にご相談下さい。

**手順 4.** 上記のいずれの方法も問題を解決できないか、もしくは AssistiveWare から直接 ご購入頂いた場合には、

下記メールアドレスに e-mail をお送り下さい。

LayoutKitchen@assistiveware.com

#### 地域販売店

下記は、当マニュアル作成時点での地域販売店のリストです。このリストの内容は更新されますので、最新の情報は下記 Web アドレスにて閲覧できます。

http://www.assistiveware.com/resellers.php

地域	販売店/販売代理店	ホームページからのお問合せ
日本	有限会社エーティーマーケット 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-9-6 OYA ビル 6F 電話: 03-5333-1325 FAX: 03-5333-1326 Email: <u>info@at-market.org</u> Web: <u>http://www.at-market.org/</u>	有限会社エーティーマーケット (フルサポート) http://www.at-market.org/
北米 (USA, カナダ, メキシコ,カリビ アン)	Origin Instruments Corporation (フルサポート) 854 Greenview Drive Grand Prairie Texas 75050-2438 USA Phone: 972-606-8740 FAX: 972-606-8741 Email: support@orin.com Web: http://orin.com/access/switchxs/	Origin Instruments Corporation (フルサポート) http://orin.com/ec/switchxs/
全地域	AssistiveWare (英語、フランス語、ドイツ語でのeメールの サポートのみ) Van Speijkstraat 73-D 1057 GN Amsterdam The Netherlands Europe FAX: +31-20-6128266 Email: <u>SwitchXS@assistiveware.com</u> Web: <u>http://www.assistiveware.com</u>	AssistiveWare (英語、フランス語、ドイツ語での e メールのサポートのみ) http://www.assistiveware.com/p urchase.php

# **Software License Agreement**

Niemeijer Consult / AssistiveWare

Software License Agreement Single Use License

PLEASE READ THIS SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("LICENSE") CAREFULLY BEFORE USING THE SOFTWARE. BY USING THE SOFTWARE YOU ARE AGREEING TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS LICENSE. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS OF THIS LICENSE (IF APPLICABLE) RETURN THE NIEMEIJER CONSULT SOFTWARE TO THE DEALER WHERE YOU OBTAINED IT. DEPENDING ON THE TERMS OF DELIVERY OF YOUR DEALER YOU ARE ELIGIBLE FOR A (PARTIAL) REFUND.

- 1. General. The Software and documentation accompanying this License whether on disk, in read only memory, on any other media or in any other form (henceforth referred to collectively as the "Software") are licensed, not sold, to you by Niemeijer Consult for use only under the terms of this License, and Niemeijer Consult reserves all rights not expressly granted to you. The rights granted herein are limited to the use rights of the Software and do not include any other rights. You own the media on which the Software is recorded but Niemeijer Consult and/or Niemeijer Consult's licensor(s) retain ownership of the Software itself.
- 2. Evaluation copies. This license also applies in full for so-called demo or evaluation copies of the Software for which use is solely permitted for a period of a few days up to (in case explicitly stated) a maximum of 3 weeks before purchase. If the Software is not purchased within the stated period the Software should be removed permanently and completely from the computer(s) on which it has been installed.
- 3. Permitted License Uses and Restrictions. This License allows you to install and use one copy of the Software on a single computer at a time. This License does not allow the Software to exist on more than one computer at a time except for home use by a single individual. It is not permitted to use the Software on more than one computer at a time or make the Software available over a network where it could be used by multiple computers at the same time. You may make one copy of the Software in machine-readable form for backup purposes only; provided that the backup copy must include all copyright or other proprietary notices contained on the original. Except as and only to the extent expressly permitted in this License or by applicable law, you may not copy, decompile, reverse engineer, disassemble, modify, or create derivative works of the Software or any part thereof. THE SOFTWARE IS NOT INTENDED FOR USE IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL SYSTEMS, LIFE SUPPORT MACHINES OR OTHER EQUIPMENT IN (OR, MORE IN GENERAL, CIRCUMSTANCES UNDER) WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE.
- 4. Transfer. You may not rent, lease, lend or sublicense the Software. You may, however, make a one-time permanent transfer of all of your license rights to the Software to another party, provided that: (a) the transfer must include all of the Software, including all its component parts, original media, printed materials and this License; (b) you do not retain any copies of the Software, full or partial, including copies stored on a computer or other storage device; and (c) the party receiving the Software reads and agrees to

accept the terms and conditions of this License.

5. Termination. This License is effective until terminated. Your rights under this License will terminate automatically without notice from Niemeijer Consult or a Niemeijer Consult authorized representative if you fail to comply with any term(s) of this License. Upon the termination of this License, you shall cease all use of the Software and destroy all copies, full or partial, of the Software.

6. Limited Warranty on Media. Niemeijer Consult warrants the media on which the Software is recorded and delivered by Niemeijer Consult to be free from defects in materials and workmanship under normal use for a period of thirty (30) days from the date of original retail purchase. Your exclusive remedy under this Section shall be, at Niemeijer Consult's option, a refund of the purchase price of the Software or replacement of the Software, which is returned to Niemeijer Consult or a Niemeijer Consult authorized representative with a copy of the receipt. This limited warranty and any implied warranties on the media including, but not limited to, the implied warranties of merchantability, of satisfactory quality, and of fitness for a particular purpose, are limited in duration to thirty (30) days from the date of original retail purchase. Some jurisdictions do not allow limitations on how long an implied warranty lasts, so the above limitation may not apply to you. The limited warranty set forth herein is the only warranty made to you and is provided in lieu of any other warranties (if any) created by any documentation or packaging. This limited warranty gives you specific legal rights, and you may also have other rights, which vary by jurisdiction.

7. Disclaimer of Warranties, YOU EXPRESSLY ACKNOWLEDGE AND AGREE THAT USE OF THE SOFTWARE IS AT YOUR SOLE RISK AND THAT THE ENTIRE RISK AS TO SATISFACTORY QUALITY, PERFORMANCE, ACCURACY AND EFFORT IS WITH YOU. Except for the limited warranty on media set forth above and to the maximum extent permitted by applicable law, the Software is provided "as is", with all faults and without warranty of any kind, and Niemeijer Consult and Niemeijer Consult's licensors (collectively referred to as "Niemeijer Consult" for the purposes of sections 7 and 8) hereby disclaim all warranties and conditions with respect to the Software, either express, implied or statutory, including, but not limited to, the implied warranties and/or conditions of merchantability, of satisfactory quality, of fitness for a particular purpose, of accuracy, of quiet enjoyment, and non-infringement of third party rights. Niemeijer Consult does not warrant against interference with your enjoyment of the Software, that the functions contained in the Software will meet your requirements, that the operation of the Software will be uninterrupted or error-free, or that defects in the Software will be corrected. No oral or written information or advice given by Niemeijer Consult or a Niemeijer Consult authorized representative shall create a warranty. Should the Software prove defective, you assume the entire cost of all necessary servicing, repair or correction. Some jurisdictions do not allow the exclusion of implied warranties or limitations on applicable statutory rights of a consumer, so the above exclusion and limitations may not apply to you.

8. Limitation of Liability. TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT SHALL NIEMEIJER CONSULT BE LIABLE FOR PERSONAL INJURY, OR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES WHATSOEVER, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, LOSS OF DATA, BUSINESS INTERRUPTION OR ANY OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, ARISING OUT OF OR RELATED TO YOUR USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE, HOWEVER CAUSED, REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY (CONTRACT, TORT OR OTHERWISE) AND EVEN IF NIEMEIJER CONSULT HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Some jurisdictions do not allow the limitation of liability for personal injury, or of incidental or consequential damages, so this limitation may not apply to

you. In no event shall Niemeijer Consult's total liability to you for all damages (other than as may be required by applicable law in cases involving personal injury) exceed the amount of fifty euro (euro 50.00). The foregoing limitations will apply even if the above stated remedy fails of its essential purpose.

- 9. Controlling Law and Severability. This License is established in the Dutch language, which will be regarded as the authentic language for this License. Any translation of this License is done for local requirements. In the event of a dispute between the Dutch and any non-Dutch versions, the Dutch version of this License shall govern. The agreement that will be entered in will be governed exclusively by Dutch law and disputes shall be exclusively brought in front of Dutch judges and courts in the Netherlands, unless prevailing International Treaties enforce a different regulation. In those cases where the choice of forum (court or judge) is not up to Niemeijer Consult but to the user of the Software the user obliges himself/herself to select a Dutch judge in The Netherlands. If for any reason a court of competent jurisdiction finds any provision, or portion thereof, to be unenforceable, the remainder of this License shall continue in full force and effect.
- 10. Complete Agreement. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the use of the Software licensed hereunder and supersedes all prior or contemporaneous understandings regarding such subject matter. No amendment to or modification of this License will be binding unless in writing and signed by Niemeijer Consult or Niemeijer Consult's authorized representatives.